

困らせてはいかんと思った

僕の意見も、かなりかっこ良く、理屈を並べたが、具体性がない。皆の反応がなく、シーンとしていた。終われば、四時十五分。二十五分のバスで帰宅。

家に着いたら、すぐに、英会話テープの続きをする。意外にも時間を取り、終われば十時。四時間も続けた。

英会話の郵送料千三百円必要なので、

「三月一日迄に送らなし、頼むわあ。」

と父に言ったら、金づまりで、父は困り顔。

「二月份、自分のこずかいで出したんやで、一月分も、お母ちゃんに千円出してもらって、

僕が三百円出したやけどなあ。」

と、それでも、僕は付け加えた。

色々、話し、最後は、

「ちょっと、考えてとくは。」で、お流れ。

お父ちゃんは、いつもやさしいので、はっきり

お金がないから、やめるなんては言わない。

これ以上、お父ちゃん、お母ちゃんを

困らせてはいかんと思った。

ほんまに、四月からはやめる決心ができた。

もう十時で、すぐ床に入ったが、眠れないので、考え込む。